オプションの大型ディスプレイ
20.3 mm 緑色または赤色 LED

TDL-40RPM

OMI 220 RPM メータ
4 桁 14.2 mm または 20.3 mm 高 LED
1/8 DIN ケース

RPM 計測用の 経済的 なスマートメータ

特長

- このメーターはRPM計測専用に設計されました。回転数ごとのパルスを入力すると、TDL-40RPMメーターはRPM読取り値を計算し表示します。
- レンジは0.1RPM、1RPM、10RPM（最大99.99×1000RPM）です。
- オプションの絶縁16ビットアナログ出力。1～9999の間で任意のスパンで4-20mA、0-20mA、0-10Vのスケーリング。
- 外部センサに電力を供給するのに24V DC励磁を使用。
- 自動感知ＡＣ／ＤＣ共用ワールド電源。

  電圧は85-265 VAC/95-370 VDC(PS1)又は15-48V AC/10-72V DC(PS2)
- 標準の赤色またはオプションの緑色、高輝度赤色 4桁 LED。
- オプションの赤色または緑色の20.3 mm 高 LED。
- 4点アナンシエーター LED が4点までのセットポイントの警告を前面パネルに表示。
- オプションのリレー。2点10A・ｃ接点と2点5A・ａ接点リレー。またはオプションの4点5A・ａ接点リレー。

ソフトウェアの特長

- 前面パネルの3つのボタンでプログラム

  (UP, DOWN, PROGRAM ボタン)。
- 前面の3つのボタンで簡単レンジ変更。
- 前面パネルでデジタル・ディスプレイとセットポイントLEDを4段階の輝度調節。
- 4点プログラマブルセットポイント。
- リレーはセットポイント以上または以下で作動するよう設定可能。
- 4点のセットポイントにヒステリシス設定。SP1とSP2にディレイ・オン・メイク／ディレイ・オン・ブレイク。
- ピークとバレー。確認とリセット。

入力モジュール

このRPM専用入力モジュールはIF05です。

仕様

入力: IF05
A/D コンバータ: ..... 14 ビット シングルスロープ
精度: ..... ±1 カウント
温度係数: ..... 100 ppm/℃(標準)
起動時間: ..... 2 分
変換速度: ..... 5 コンバージョン/ 秒 (標準)
表示: ..... 4桁、14.2mm、赤色LED表示（標準）。14.2mmまたは20.3mm、赤色、緑色、高輝度赤色（オプション）。レンジは9999カウントまで。
極性: ..... －（マイナス）のみ表示。
小数点選択: ..... 分解能の選択により自動
プラスオーバーレンジ: デジタル表示の上部セグメントが点滅
リレー出力: ..... 2点5A・ａ接点及び2点10A・ｃ接点、または5A・ａ接点リレー。
アナログ出力: ..... 絶縁16ビット ユーザー設定式 mA又はV
AIC (mA) ..... 4-20mA（0～500Ωループ抵抗）
AIV (volts) ..... 0-10V DC（500Ω以上抵抗）
電源: ..... AC/DC 自動検知ワイドレンジ
PS1 (標準) ..... 85-265 VAC / 95-370 VDC @ 2.5W max 3.5W
PS2 ..... 15-48 VAC / 10-72 VDC @ 2.5W max 3.5W
運転温度: ..... 0 ～ 60 ℃
保存温度: ..... –20 ℃ ～ 70 ℃
相対湿度: ..... 95% (結露なきこと)
ケース寸法: 96x48mm
奥行き117mm プラス直角コネクタ用に11.8mm、又は水平差込み式コネクタ用に20mm。
質量: ..... 184g（包装時は241g）

目次

特長 1
ソフトウェアの特長 1
入力モジュール 1
仕様 1
操作と表示 2
記号の解説 2
ソフトウェアのロジック・ツリー 3
2 点アナログ出力レンジ設定と校正 4
回転毎のパルス、レンジ、輝度設定 4
アナログレンジ出力用
デジタルスパン設定 5
セットポイント設定と
リレー設定モード 6
機能図 7
端子図 ..... 7－8
モジュール構成 ..... 8－9
入力モジュール解説 10
ケース寸法 10
レンズカバー OP-N4X/96 X 48 11
金属ケース 11
注文情報 12

操作と表示

前面パネルボタン

プログラムボタン

P プログラムボタンは 1 つのプログラムステップから次のプログラムステップに進む時に使用されます。↑ 上矢印ボタンと同時に押すと公正モードになります。↓ 下矢印ボタンと同時に押すとセットポイント設定モードになります。

上矢印ボタン

通常動作時に ↑ 上矢印ボタンを押すとピーク値とバレー値が表示され、れセットすることができます

校正モードまたはセットポイント設定モードの時に ↑ 上矢印ボタンを押すと設定値を増加させます。

下矢印ボタン

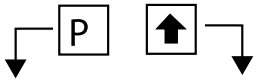
通常動作時に ↓ 下矢印ボタンを押すとセットポイント 1、2、3、と 4 の設定値が表示されます。（ただし変更はできません）

校正モードまたはセットポイント設定モードの時に ↓ 下矢印ボタンを押すと設定値を減少させます。

記号の解説

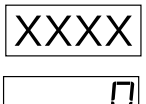
この取扱説明書ではソフトウエアのプログラム手順をより解りやすく説明するためにロジック図を使用しています。下記のそれぞれの器号が表示やボタンの意味付けをしています。

記号	説明
8.8.8.8.	運転ディスプレイ
P	プログラムボタン
↑	上矢印ボタン
↓	下矢印ボタン

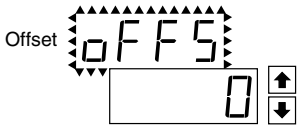


2 つ以上のボタンが示されている時は、選択するプログラムを示します。

2 つのボタンが破線で囲まれている時は、 2 つを同時に押して離すと次のステップに進みます。



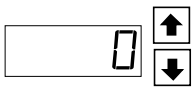
ディジットに X が示されている場合は、表示されている数値が機能に関係ありません。



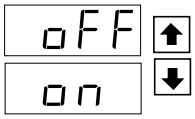
2 つの表示が 2 段にずれて表示されている時は機能表示とその値を交互に切替えて表示します。その時に ↑ または ↓ を押すと設定値の表示に変わります。その後、設定値の増減を行います。

[ScLE]
[9999]

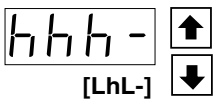
文字または数字が四角い括弧の中に示されている時はその機能のプログラムコードの名前、またはその数値を表します。



↑ と ↓ ボタンが同時に示されている時は表示値がボタンを押すことにより増減されます。↑ ボタンで増加させ ↓ ボタンで減少します。

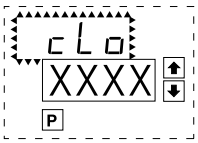


↑ と ↓ ボタンが同時に 2 つの表示と一緒に示されている時は ↑ と ↓ ボタンを押してどちらかを選択します。



[LhL-]
[hLh-]
[LLL-]

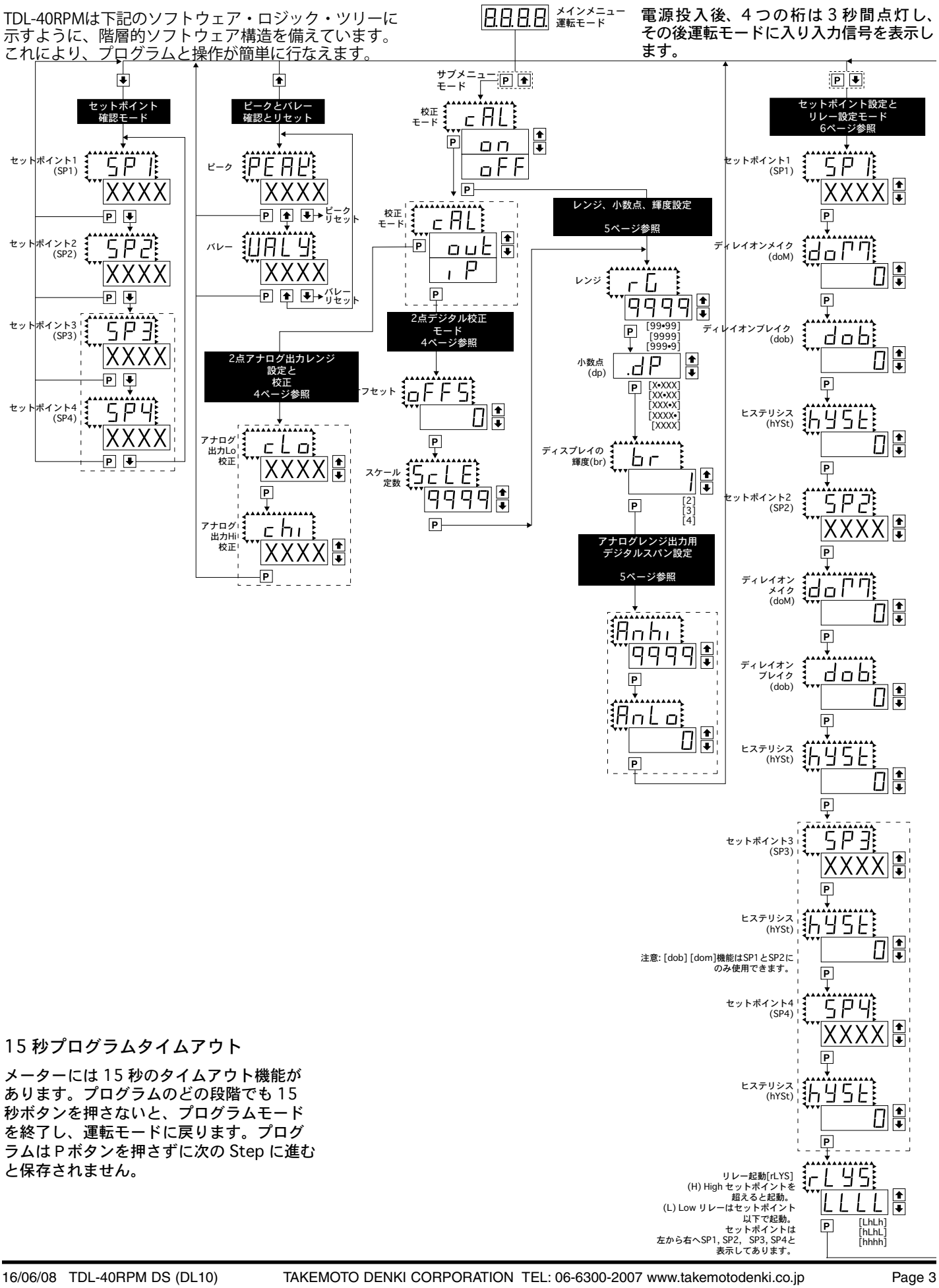
2 つ以上の選択表示がある場合は ↑ と ↓ ボタンを押して選択します。



表示が破線の四角で囲まれている場合は関係するハードウエアがインストールされておらず、その機能が有効でないことを示します。

ソフトウェアのロジックツリー

TDL-40RPMは下記のソフトウェア・ロジック・ツリーに示すように、階層的ソフトウェア構造を備えています。これにより、プログラムと操作が簡単に行なえます。



15 秒プログラムタイムアウト

メーターには 15 秒のタイムアウト機能があります。プログラムのどの段階でも 15 秒ボタンを押さないと、プログラムモードを終了し、運転モードに戻ります。プログラムはPボタンを押さずに次の Step に進むと保存されません。

２点アナログ出力範囲設定と校正

STEP A　校正モードに入ります。

1) Ｐボタンと▲ボタンを同時に押します。アナログ出力オプションを搭載していればディスプレイは[cAL]と[oFF]を交互に表示します。

Note：この時点で表示が直接[PPr]と前回のスケール定数の設定値を表示する場合、ソフトウェアがオプションのアナログ出力ハードウェアがインストールされていないことを検知しています。

STEP B　[oUT]アナログ出力校正モードに入ります。

1) ▲または▼ボタンを押します。ディスプレイは[oFF]から[on]に変わります。
2) Ｐボタンを押します。ディスプレイは[cLo]と内部のスケール定数を交互に表示します。

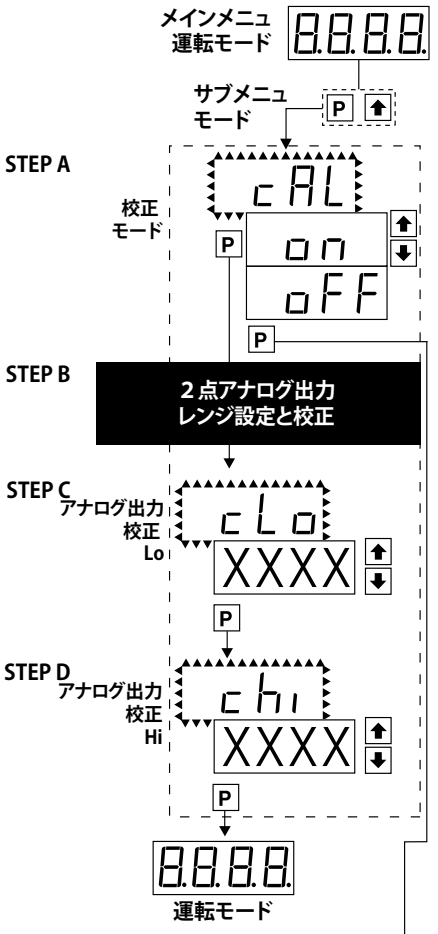
STEP C　[cLo]低アナログ出力を校正します。

1) 出力モジュールの電圧/電流出力ヘッダ位置を設定します。(9ページのモジュール構成を参照)
2) 出力モジュールの16番、17番端子にマルチメーターを接続します。(8ページの背面端子図参照) ▲と▼ボタンを使ってマルチメーターに表示されたご希望の値にアナログ出力を調整します。cLoは- 0.3mA～17mA（mA出力の場合）または - 0.6V～8V（ボルト出力の場合）の間で任意に調整できます。
3) Ｐボタンを押します。ディスプレイは[chi]と内部のスケール定数を交互に表示します。

STEP D　[chi]高アナログ出力を校正します。

1) ▲と▼ボタンを使ってマルチメーターに示されたご希望の値にアナログ出力を調整します。chiは17mA～21mA（mA出力の場合）または8V～10.3V（ボルト出力の場合）の間で任意に調整できます。
2) Ｐボタンを押します。校正モードを終了して運転モードに戻ります。

Note：アナログ出力のLowとHighレンジを設定したので、アナログ出力が生じる2点表示ポイントを設定するデジタルスパンは選択できます。（５ページのSTEP I と STEP J 参照)



パルス数、レンジ、輝度設定

STEP E　サブメニュー[cAL][oFF]を経由してレンジ設定モードに入ります。

1) Ｐボタンと▲ボタンを同時に押します。ディスプレイは[cAL]と[oFF]を交互に表示します。
2) Ｐボタンを押します。ディスプレイは[PPr]と前回の１回転当りのパルス数を交互に表示します。

STEP F　１回転当りパルス数 (PPR)を入力します。

1) ▲と▼ボタンを使って回転あたりのパルス数を入力します。1～9999の間の任意の数が入力できます。
2) Ｐボタンを押します。表示は[rG]と前回のレンジ設定値を交互に表示します。

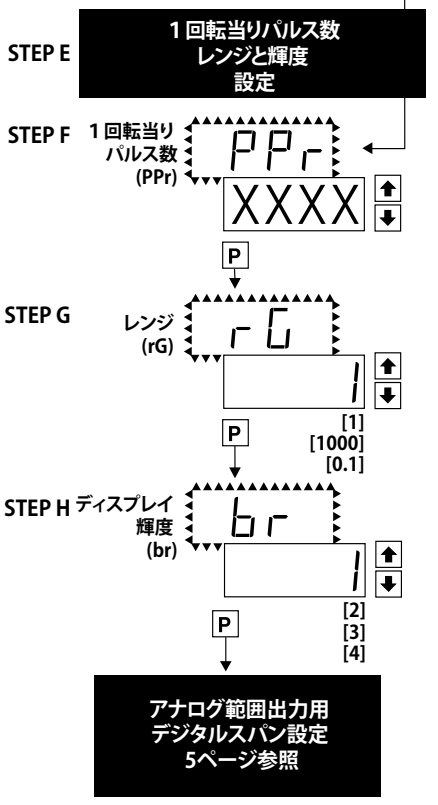
STEP G　レンジを設定します。

1) ▲と▼ボタンを使ってお好みのレンジを設定します。0.1 RPM（max.999.9 RPM）、1 RPM（max.9999 RPM）、10 RPM（max.99.99 X 1000 RPM）の分解能の3つのレンジがあります。
2) Ｐボタンを押します。表示は[br]と現在の輝度設定値を交互に表示します。

STEP H　ディスプレイの輝度を設定します。

1) ▲と▼ボタンを使ってディスプレイをお好みの輝度に設定します。（4が最も明るい設定になります）
2) Ｐボタンを押します。アナログ出力オプションを搭載している場合ディスプレイの輝度が新たな設定に変わり、ディスプレイは[Anhi]と現在の[Anhi]設定値を交互に表示します。

Note:アナログ出力オプションを搭載していない場合、ディスプレイは運転モードに戻ります。



アナログ範囲出力用デジタルスパン設定

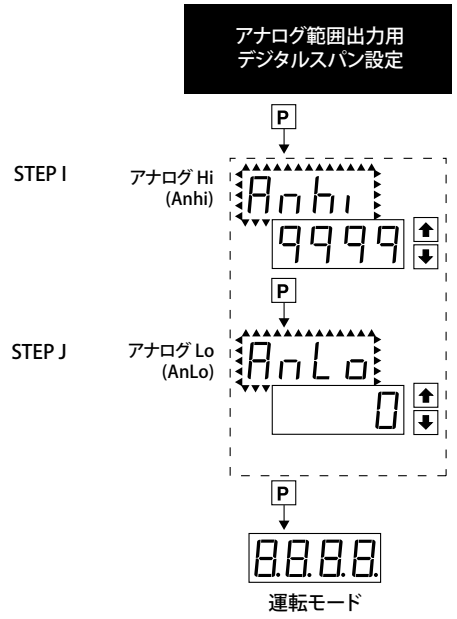
STEP I　アナログHi出力に一致する表示の設定

1) ▲と▼ボタンを使って、ディスプレイを設定したアナログHi出力が現われる値に調整します。
2) Ｐボタンを押します。ディスプレイは[AnLo]と現在の[AnLo]値を交互に表示します。

STEP J　アナログLo出力に一致する表示の設定

1) ▲と▼ボタンを使って、ディスプレイを設定したアナログLo出力レンジが現われる値に調整します。
2) Ｐボタンを押します。ディスプレイは校正モードを終了して運転モードに戻ります。

Note: 0～9999の間で任意の2点のデジタルスケールポイントで設定できます。アナログハイ用とアナログロー用のデジタルスケールポイントは、20-4mA用出力に逆転させることができます。デジタルスケールのスパンは2カウントからできますが、D/Aコンバータの分解能は16ビットのため注意が必要です。



セットポイント設定とリレー設定モード

次のプログラミングステップは４点のセットポイントを使用するリレー付メータにSP値を入力し、リレー機能を設定するのに必要です。一般的に４点以下のリレーが設定されると、このソフトウェアは行方不明のリレーを自動探索し、メニューからこのリレーへの参照を削除します。時にはリレーのないセットポイントが表示目的にだけ使用できます。

STEP A　セットポイントモードに入ります。
1) P と ⬇ ボタンを同時に押します。
ディスプレイは [SP1] と前回の [SP1] 設定をトグルします。

STEP B　セットポイント 1 (SP1)
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的の SP1 値に調整します。
2) P ボタンを押します。表示は [doM] と前回の [doM] 設定をトグルします。

STEP C　SP1 Delay-on-Make (doM) 遅延時間設定
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的の [doM] 値(0 から9999 秒)に調整します。
リレーが働くまでの遅延時間の経過中、読み値はずっと警報状態でなければならない。
2) P ボタンを押します。 表示は [dob] と前回の [dob] 設定をトグルします。

STEP D　SP1 Delay-on-Break (dob) 遅延時間設定
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、表示を目的の[dob] 値(0 から9999 秒)に調整します。
リレーがブレークするまでの遅延時間の経過中、読み値はずっと非警報状態でなければ　ならない。
2) P ボタンを押します。 表示は [hYSt] と前回の [hYSt] 設定をトグルします。

STEP E　セットポイント 1 (SP1)用ヒステリシス設定
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的の[hYSt] 値に調整します。
2) P ボタンを押します。 表示は [SP2] と前回の [SP2] 設定をトグルします。
NOTE:　選択されたヒステリシス値の半分は 以上と以下で印加されます。

NOTE: Step F, G, H, J は機能的に 上記の step B, C, D, Eと同じです。

STEP F　セットポイント 2 (SP2)設定
STEP G　SP2 Delay-on-Make (doM) 遅延時間設定
STEP H　SP2 Delay-on-Break (dob) 遅延時間設定
STEP I　セットポイント 2 (SP2)用ヒステリシス設定
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的の[hYSt] 値に調整します。
2) P ボタンを押します。 表示は [SP3] と前回の [SP3] 設定をトグルします。

STEP J　セットポイント 3 (SP3)用 ([doM] あるいは [dob]なし)設定
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的のSP3 値に調整します。
2) P ボタンを押します。 表示は [hYSt] と前回の [hYSt] 設定をトグルします。

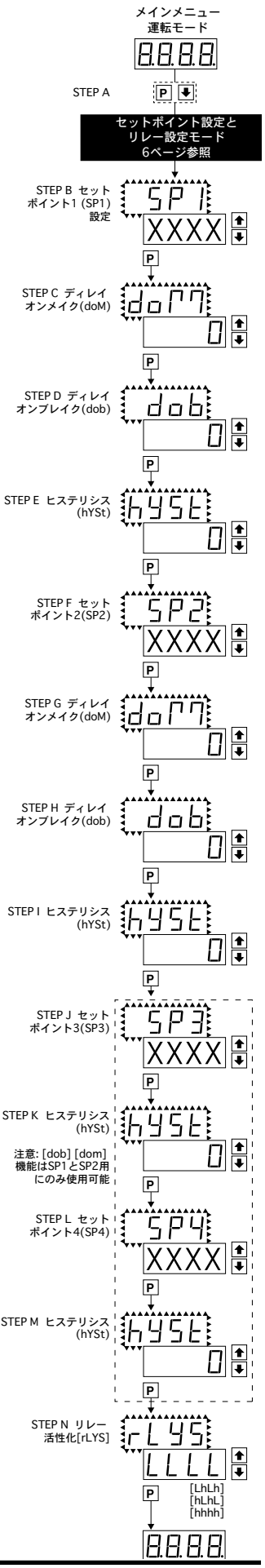
STEP K　セットポイント 3 (SP3)用ヒステリシス設定
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的の[hYSt] 値に調整します。
2) P ボタンを押します。 表示は [SP4] と前回の [SP4] 設定をトグルします。

STEP L　セットポイント 4 (SP4)用 ([doM] あるいは [dob]なし)設定
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的のSP4 値に調整します。
2) P ボタンを押します。 表示は [hYSt] と 0 をトグルします。

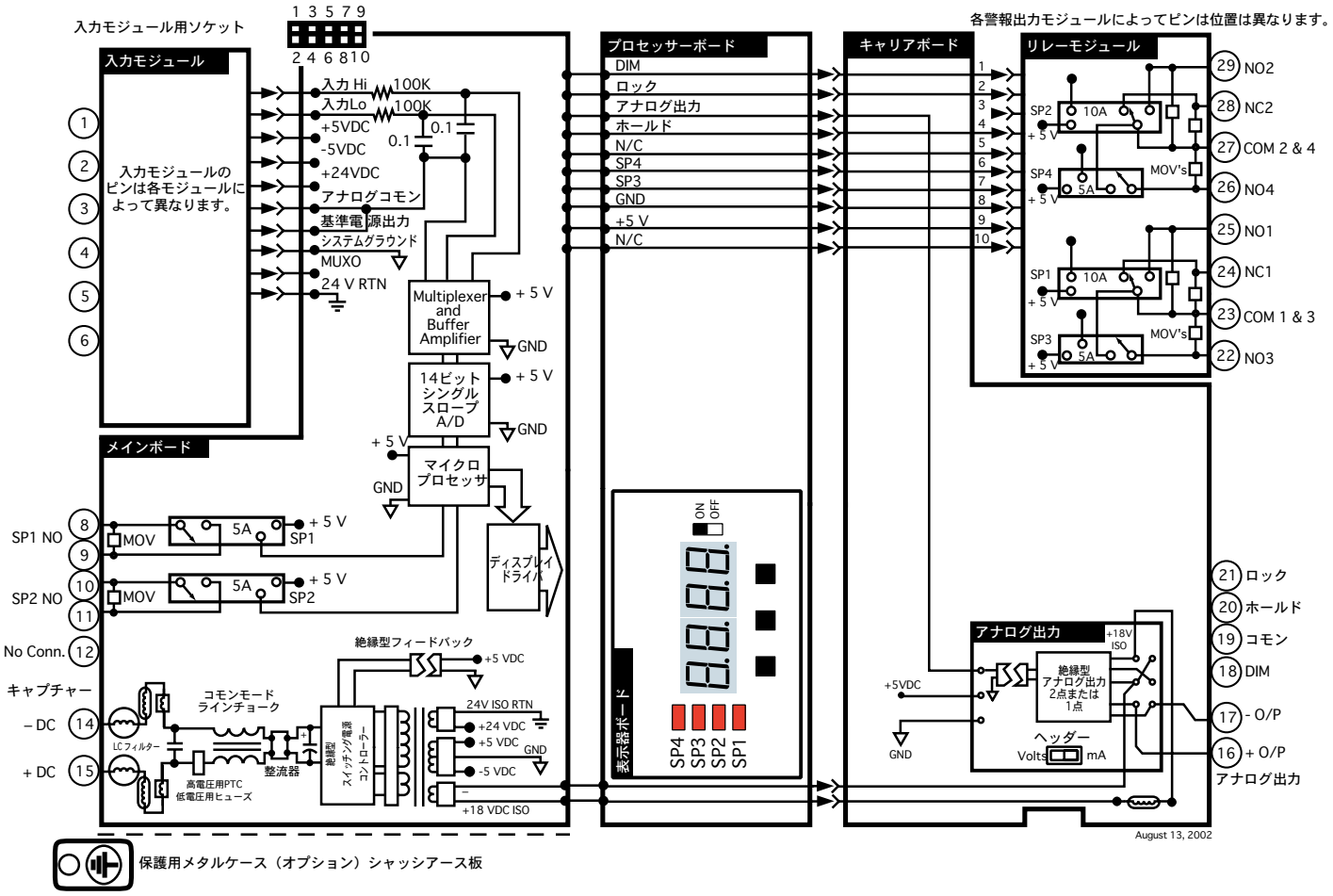
STEP M　セットポイント 4 (SP4)用ヒステリシス設定
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的の[hYSt] 値に調整します。
2) P ボタンを押します。 表示は [rLYS] と前回の リレー 設定をトグルします。

STEP N　リレー作動モード[rLYS]設定
(h) High リレーはセットポイントを超えると作動します。(L) Low リレーセットはセットポイント以下で作動します。セットポイントは左から右に SP1, SP2, SP3, SP4です。
1) ⬆ と ⬇ ボタンを使用し、 表示を目的の設定値に調整します。
設定値は [LLLL], [LhLh], [hLhL], [hhhh]です。
リレーが２点の場合は[Lh--], [hL--], [hh--], [LL--]です。
2) P ボタンを押します。
セットポイントモードを終了して、運転モードに戻ります。

これでセットポイントリレープログラミングモードは完了です。



機能図



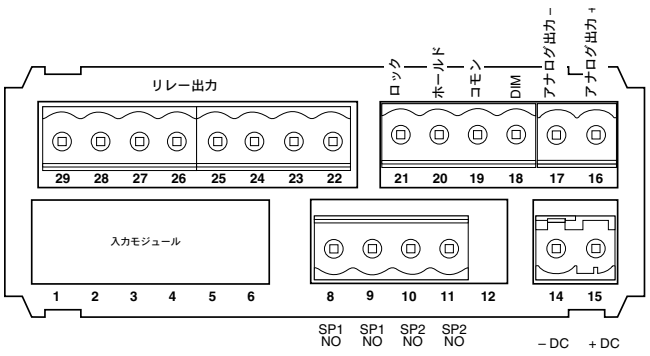
端子図

端子図

背面図はリレー設定付メーターを示しています。2点10A・c接点と2点5A・a接点。アナログ出力モジュールも搭載しているものとして示しています。

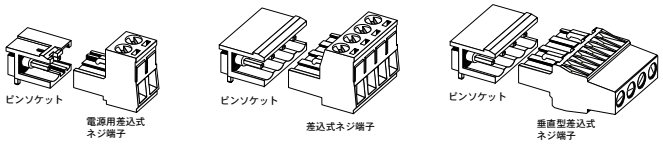
TDL-40RPMはプラグインタイプのネジ式ターミナルコネクタをすべての入出力接続に使用しています。電源接続（14ピンと15ピン）には特別なプラグとソケットを使用し誤接続を防止しています。メインボードと入力モジュールは直角コネクタを標準として使用しています。出力モジュールは垂直型ネジ端子を標準として使用しています。

警告:入力および電源の接続の際には、必ず電源をオフにしてから実施してください。
活線での接続作業は非常に危険です。また、機器を破損したり、火災の恐れもあります。



自動検知 AC/DC 電源
85-265 V AC / 95-370 V DC (PS1) あるいは 18-48 V AC / 10-72 V DC (PS2)

差込式ネジ端子



入力信号 - １～６端子

端子１～６番は入力モジュール用です。詳細は入力モジュールのカタログ参照。

リレー出力 - ８ ～ １２端子

注意：セットポイント1、2用のリレーがメイン基板に搭載されており、かつセットポイント1、2位置にリレーのあるリレー出力モジュールが使用される場合、2つのリレーは同時に作動します。

端子 8　SP1 NO.
端子 9　SP1 NO. Normally Open 5 Amp Form A.
端子 10　SP2 NO.
端子 11　SP2 NO. Normally Open 5 Amp Form A.
端子 12　接続なし

ＡＣ／ＤＣ電源入力 - １４～１５端子

自動感知 AC/DC 電源
85-265 V AC/95-370 V DC (PS1) or 18-48 V AC/10-72 V DC (PS2)
端子 14　AC/DC　電源供給中性線
端子 15　AC/DC　電源供給活線

キャリアボード出力端子（オプション）

アナログ出力 – １６～１７端子

端子 16　プラス　(+) アナログ出力
端子 17　マイナス (–) アナログ出力

端子図

背面機能端子 - 端子１８～２１

１８～２１番端子により外部スイッチで行なう機能を使用することができます。

端子 18 ＤＩＭ。ＤＩＭピンをＣＯＭＭＯＮピンに接続するとディスプレイの輝度設定が半分になります。

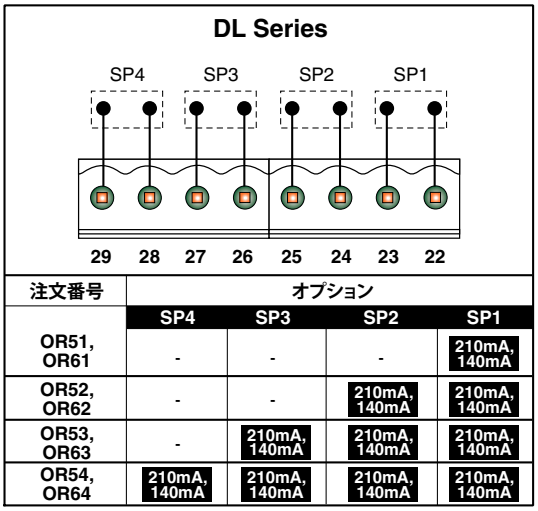
端子 19 ＣＯＭＭＯＮ。メーターの背面からＬＯＣＫ又はＤＩＭ機能を起動するために、各々の端子はＣＯＭＭＯＮピンに接続する必要があります。このピンは内部の電源アース端子に接続します。

端子 20 ＨＯＬＤ。ＨＯＬＤピンをＣＯＭＭＯＮピンに接続することにより、表示された読取り値が固定されます。ただしＡ／Ｄ変換は続けます。ＨＯＬＤピンがＣＯＭＭＯＮピンから外されると、正しい読取り値が表示されます。

端子 21 ＬＯＣＫ。ＬＯＣＫピンをＣＯＭＭＯＮピンに接続することにより、プログラムされたパラメータを見ることはできますが、変更はできません。

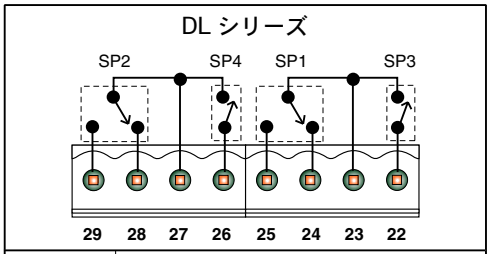
出力モジュール端子 - 端子２２～２９

独立４点 入力モジュール 400V
(210mA DC only) or (140mA AC/DC) SSR



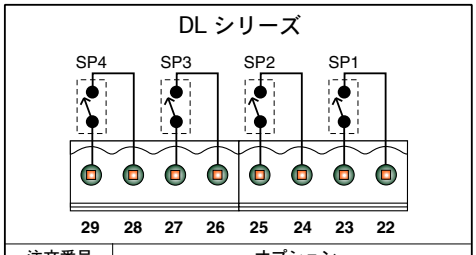
注文番号	オプション			
	SP4	SP3	SP2	SP1
OR51, OR61	-	-	-	210mA, 140mA
OR52, OR62	-	-	210mA, 140mA	210mA, 140mA
OR53, OR63	-	210mA, 140mA	210mA, 140mA	210mA, 140mA
OR54, OR64	210mA, 140mA	210mA, 140mA	210mA, 140mA	210mA, 140mA

2点非絶縁型 5A フォームA リレーモジュールと
2点非絶縁型 10A フォームC リレー



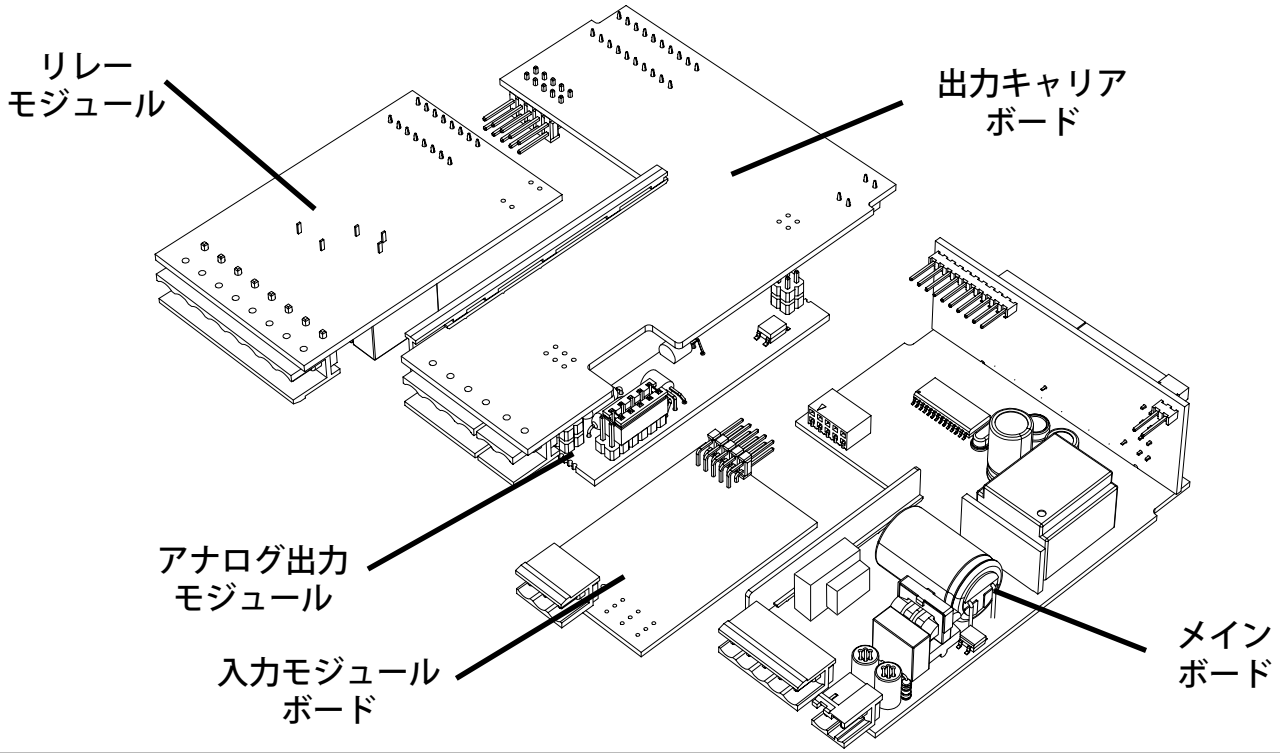
Order Code	オプション			
	SP2	SP4	SP1	SP3
OR11	-	-	10A	-
OR12	10A	-	10A	-
OR23	10A	5A	10A	-
OR14	10A	5A	10A	5A
OR15	-	5A	10A	5A
OR16	-	5A	10A	-

4点絶縁型 5A フォームA リレーモジュール

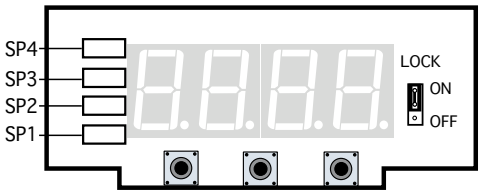


注文番号	オプション			
	SP4	SP3	SP2	SP1
OR31	-	-	-	5A
OR32	-	-	5A	5A
OR33	-	5A	5A	5A
OR34	5A	5A	5A	5A

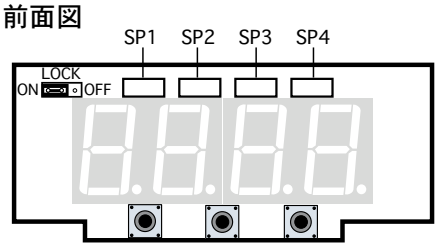
モジュール構成



ディスプレイ 基板ー前面図

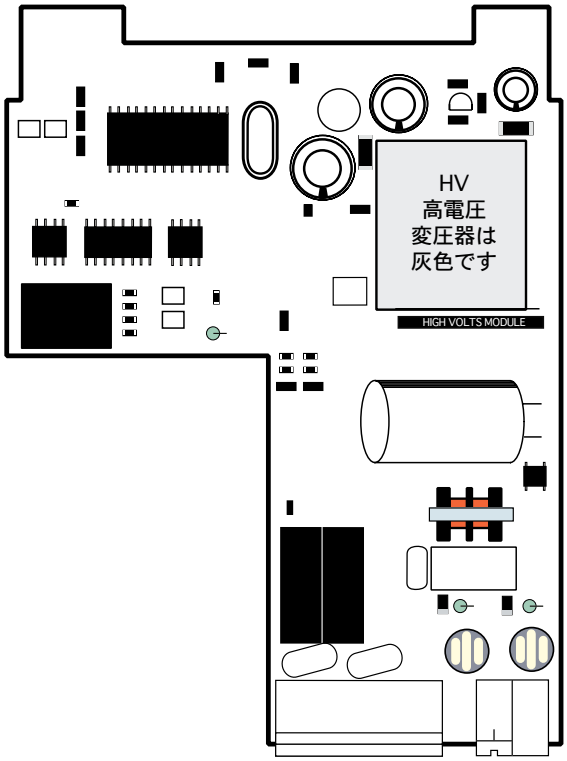


14.2mm LED ディスプレイ基板ー前面図

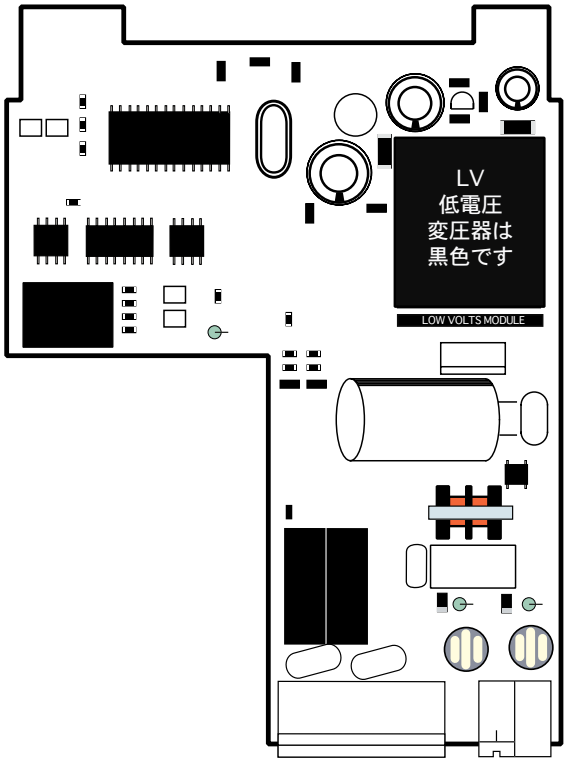


20.3mm LED ディスプレイ基板ー前面図

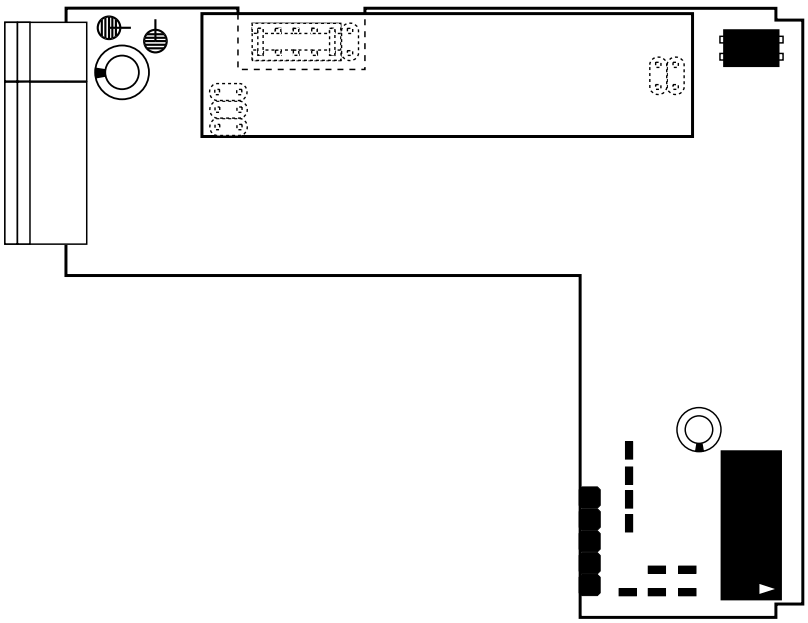
高電圧メイン基板



低電圧メイン基板

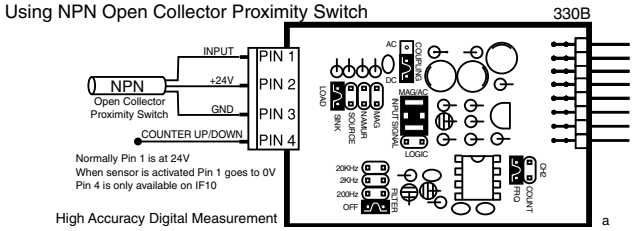


出力モジュール基板



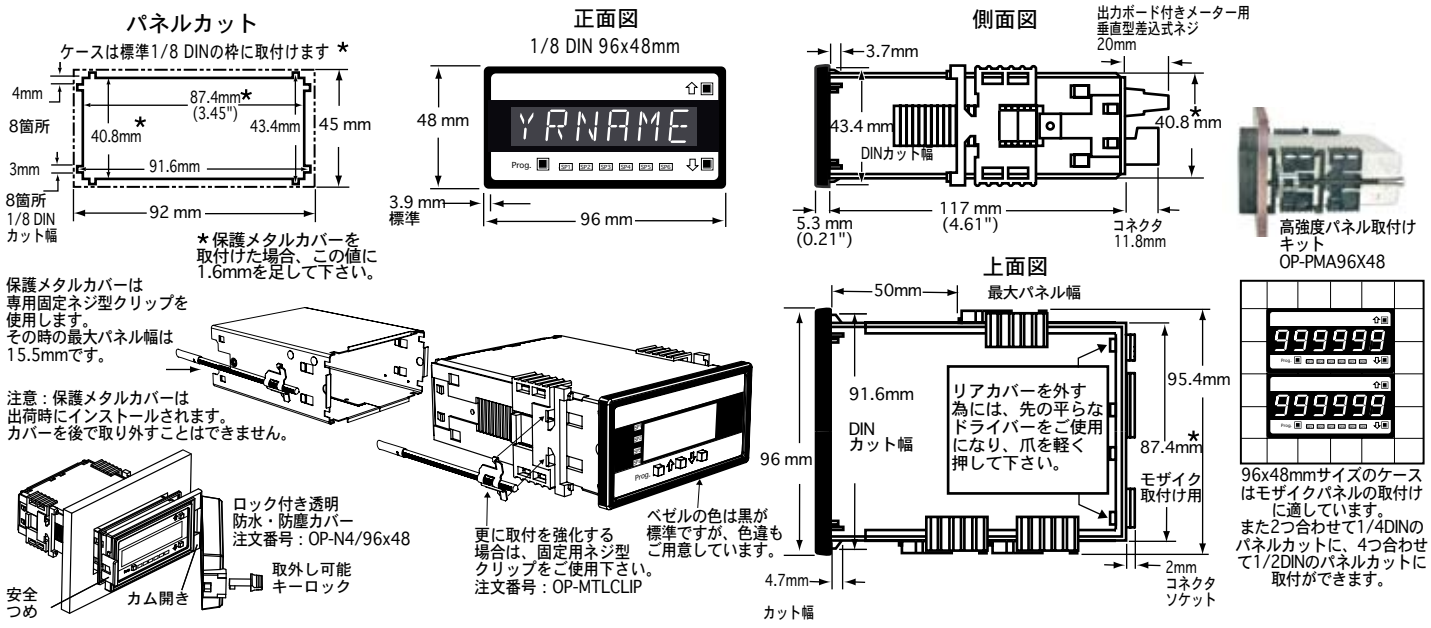
特にご指定がない場合、全てのモジュールは工場での設定値または太字のスケーリングで出荷します。その他の標準レンジやカスタムレンジもご指定いただけます。工場設定のカスタムスケーリングおよびその他のカスタムオプションもご利用いただけます。

IF05: 汎用周波数 / RPM



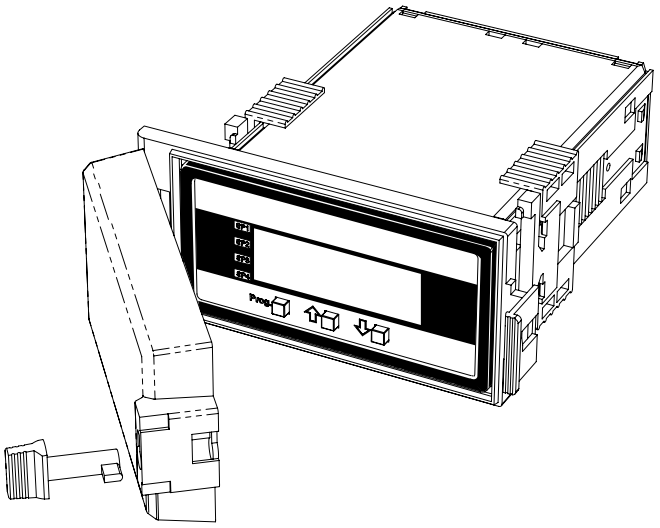
警告: AC・DC入力信号及び電源電圧は危険です。活線をプラグに接続したまま挿入したり抜いたり、取扱いを行なわないで下さい。

ケース寸法



レンズカバー OP-N4X/96X48

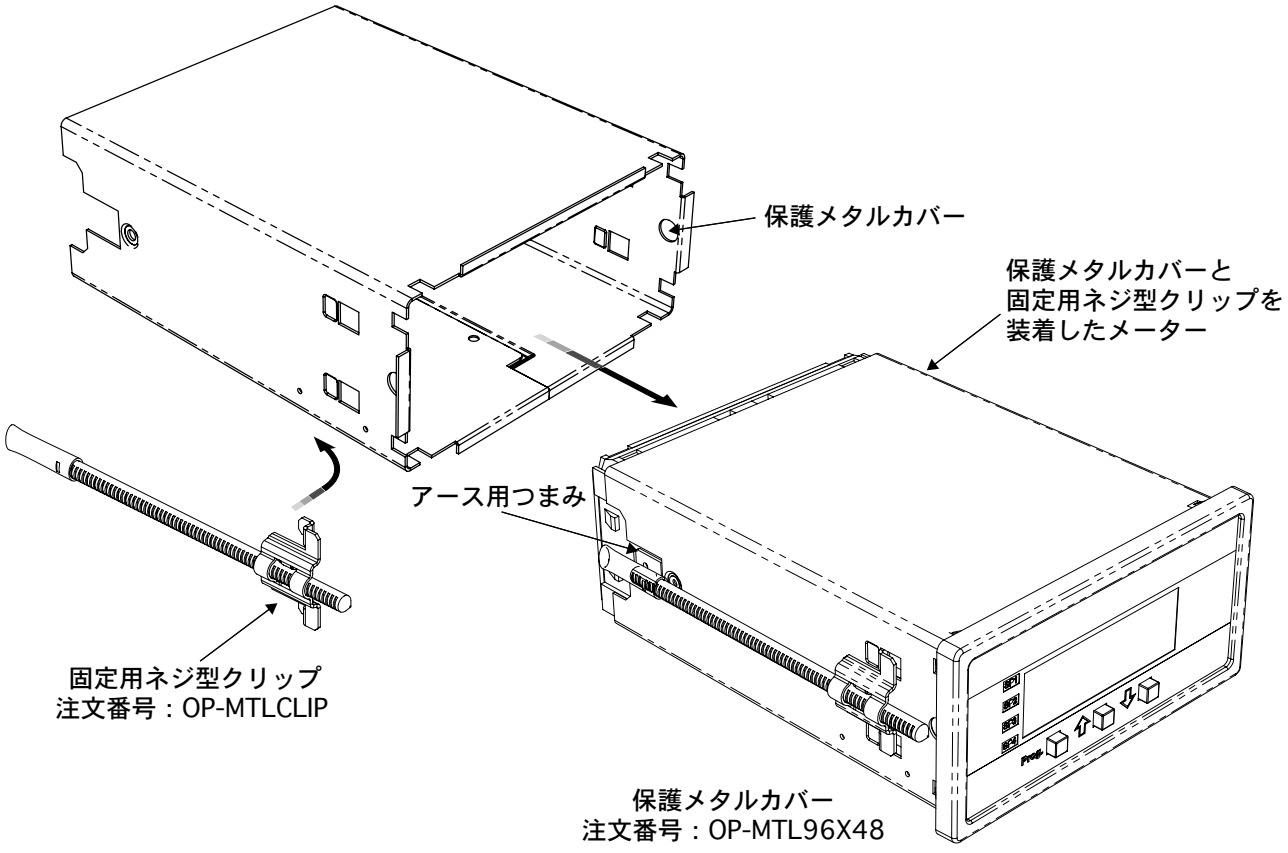
レンズカバーはＮＥＭＡ‐４基準に従い防塵、防水設計になっています。レンズカバーは基部、カムヒンジ付カバー、固定装置からなります。Ｏリング（ネオプレーン・ガスケット）は基部とパネルを密閉します。カムヒンジはカバーが開いている時に、押して閉じるまでカバーが閉まるのを防ぎます。カバーには細くなった部分があり、閉まると基部の突起物と相俟って良く締まります。キーロックを回すとカバーが基部にしっかりと締まり、これにより密閉の完全性を確かなものにします。キーが開位置に回され抜き取られても安全装置によりカバーは閉まったままです。鍵穴は安全シールクリップを添付するのにも使用できます。これにより不正に開けられることを防げます。



金属ケース OP-MTL96X48

メーターのプラスチックケースは難燃剤のポリカーボネイトで作られています。金属ケースはメーターの難燃性を高め、電磁妨害から守ります。金属ケースはポリカーボネイトのケースを滑り、バネ式ノーリターンクリップでしっかりと固定されます。一度金属ケースがポリカーボネイトケースに取り付けられると、取り外す事は出来ません。

金属ケースが取り付けられると、メーターのプラスチック製歯止め型取付けクリップは使用されません。ネジ式取付けクリップは金属ケースの側面の穴に挿入し、メーターをパネルに取り付けるのに使用します。金属ケースのアース用つまみにより、メインボードと金属ケースのアース接続を行ないます。



注文情報

基本型番		ディスプレイ		電源		入力モジュール		アナログ出力*		リレー出力*		オプション/ アクセサリ
TDL-40RPM	−		−		−		−		−		−	OA____

基本型番に、必要な標準オプションのコードを付け加えて下さい。最終コードは何種類の特別オプション、アクセサリをこの製品に含めるかを示します。
*R1 又は R2 リレー出力を選択した時を除き、アナログ出力又はリレー出力付きメーターには出力モジュール基板が必要で、これは自動的に ¥1、400 で注文に含まれます。

▶基本型番
TDL-40RPM. . . . . 96x48mm, OMI 220, 4 桁 , RPM

この型番用の標準オプション

注文コード　　詳細　　価格

▶ディスプレイ
DR. . . . . 赤色 LED, 14.2mm 高
DB. . . . . 高輝度赤色 LED, 14.2mm 高
DG . . . . . 緑色 LED, 14.2mm 高
LG. . . . . 大型緑色 LED, 20.3mm 高
LR. . . . . 大型赤色 LED, 20.3mm 高

▶電源
PS. . . . . 85 - 265VAC / 95 - 370VD
PS2. . . . . 15 - 48VAC / 10 - 72VDC

▶入力モジュール
ご指定がなければ、モジュールは工場設定値・スケーリング (太字) で出荷します。

IF05 . . . . . 汎用周波数 /RPM

▶アナログ出力 * 出力モジュール基板に 1,400 円追加
AIC. . . . . 絶縁 16 Bit 電流出力 , 0-20mA and 4-20mA, 特定してください
AIV. . . . . 絶縁 16 Bit 電圧出力

▶リレー出力
注意： R1 と R2 はメインボードにあり、通常、2 点以下の A 接点が使用され、かつアナログ出力が必要でない場合に使用されます。
R1. . . . . 1 シングル 5A a 接点
R2. . . . . デュアル 5A a 接点 A リレー

▶リレー出力モジュール
注意 : メーターをリレー出力モジュールと共に御注文になりアナログ出力がない場合、1,400 円の出力モジュール基板がご注文に自動的に追加されます。

OR11. . . . . 1 点 10 A フォーム C 接点 絶縁
OR15. . . . . 1 点 10 A フォーム C 及び 2 点 5 A フォーム A 接点
OR16. . . . . 1 点 10 Amp フォーム C 及び 1 点 5 A フォーム A 接点
OR12. . . . . 2 点 10 A フォーム C 接点 絶縁
OR14. . . . . 2 点 10 A フォーム C 及び 2 点 5 A フォーム A 接点
OR23. . . . . 2 点 10 A フォーム C 及び 1 点 5 A フォーム A 接点 絶縁
OR31. . . . . 1 点 5 Amp フォーム A 接点 絶縁
OR32. . . . . 2 点 5 Amp フォーム A 接点 絶縁
OR33. . . . . 3 点 5 Amp フォーム A 接点 絶縁
OR34. . . . . 4 点 5 Amp フォーム A 接点 絶縁

Solid State リレー (SSR) 出力モジュール DC のみ
OR51. . . . . 1 点 400V DC ソリッドステートリレー (SSR) 210mA
OR52. . . . . 2 点 400V DC ソリッドステートリレー (SSR) 210mA
OR53. . . . . 3 点 400V DC ソリッドステートリレー (SSR) 210mA
OR54. . . . . 4 点 400V DC ソリッドステートリレー (SSR) 210mA

Solid State リレー (SSR) 出力モジュール AC/DC
OR61. . . . . 1 点 400V AC/DC ソリッドステートリレー (SSR) 140mA
OR62. . . . . 2 点 400V AC/DC ソリッドステートリレー (SSR) 140mA
OR63. . . . . 3 点 400V AC/DC ソリッドステートリレー (SSR) 140mA
OR64. . . . . 4 点 400V AC/DC ソリッドステートリレー (SSR) 140mA

特別オプションとアクセサリ

注文番号　　詳細　　価格

▶特別オプション
出力モジュールボード
* 次のオプションを 1 以上含む場合、キャリアボードが必要です。
SA-DL/OM-CB . . . . . 出力モジュール基板 , DL シリーズ
CR-CHANGE . . . . . レンジ変更 (標準から太字へ)
CS-3/3.5/4. . . . . 標準レンジ内でのカスタムディスプレイスケール
COA-3/3.5/4 . . . . . デジタルメーター、バーグラフ用アナログ出力カスタムスケール
CCL-SETUP . . . . . NRC(カスタム設定ファイル設定とシリアル # 発行)
CCL-INSTL. . . . . カスタム設定、特別シリアル #CCL 設定
CSR-SETUP . . . . . NRC(カスタム選択式レンジ設定)
CSR-INSTL. . . . . 工場設定 カスタム設定、特別シリアル #CSR
CSS-SETUP . . . . . NRC(カスタム特別スケーリング設定)
CSS-34/INSTL. . . . . 3.5、4.0 メートル , 特別シリアル # CSS 設定
COR-SETUP. . . . . NRC(非標準位置へのリレー設定)
COR-INSTL . . . . . 非標準位置へのリレー設定、特別シリアル # COR

▶アクセサリ
75-DBBZ9648F . . . . . 96x48mm ケース用黒ベゼル
75-DMTCLIPF. . . . . 側面スライドブラケット (2 点)
76-DL40G-N4. . . . . タッチ式緑色 LED 前面パネル , NEMA 4, 工場取付
76-DL40LG-N4. . . . . タッチ式大型緑色 LED 前面パネル , NEMA 4, 工場取付
76-DL40LR-N4 タッチ式大型緑色 LED 前面パネル , NEMA 4, 工場取付

保証
お買い上げ日から 1 年間、通常の使用下において製品を保証します。弊社の責任は交換または修理、前払いの送料に限らせていただきます。弊社以外の者が修理または交換を行った機器または誤った使用、不注意、事故には保証は及びません。
弊社が修理または取り替えを行った場合でも、従来の保証期間は延長されません。

ユーザーの責任
弊社製品の使用法については印刷物により、または直接弊社スタッフに直接お問い合わせいただけます。

ただし出荷後は製品の使用について弊社の管理を及ぼすことができないため、

弊社の裁量による修理、交換、購入代金の返還を超えて商品性、目的への適合などの保証はいたしかねます。
ユーザーが意図したアプリケーションと製品との適合性を判断するものとし、アプリケーションまたは構成について弊社が行った提案・説明にかかわらず、これらのあらゆる危険と責任はユーザーが負うものとします。
いかなる場合においても弊社の責任は製品のお買い上げ価格を超えないものとします。
弊社は記載された回路のいずれにも責任を負わないものとします。
回路特許もソフトウェアライセンスも含んでいません。弊社はいつでも予告なしに回路、オペレーティングソフトウェア、仕様および価格を変更する権利を保有します。

タケモトデンキ株式会社

〒 532-0027 大阪府大阪市淀川区田川 3 − 5 − 1 1
Tel: 06-6300-2007
Fax: 06-6308-7766

弊社製品はホームページでもご覧いただけます。
www.takemotodenki.co.jp